

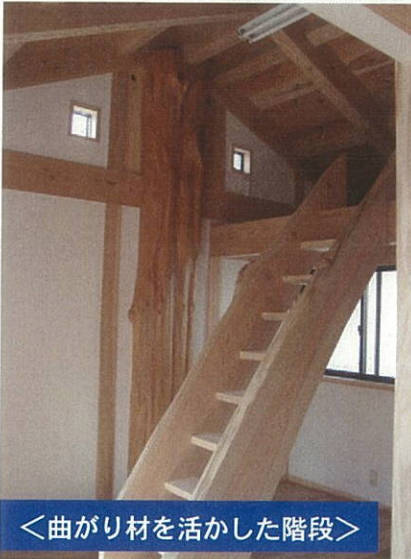
森林環境税を活用した製品等開発事例

曲がり材・大径材を活用した建具・家具

事業主体 : かがしま材ネットワーク「匠の会」

事業名 : 森林環境税公募事業（木のおふれる街づくり事業）

開発内容 : ●今後、増加が見込まれる大径材および曲がり材の素材の形状を活かした建具、家具等を製作し、県産材の消費拡大に取り組んだ。



<曲がり材を活かした階段>



<無垢材の木製ドア>

ウッドチップ防草袋

事業主体 : 鹿児島県木製土木資材普及協議会

事業名 : 森林環境税公募事業（木のおふれる街づくり事業）

開発内容 : ●マルチング材としてウッドチップに着目。
ウッドチップを生分解性ネットに詰め、チップの飛散防止および維持管理の省力化を図った。
林道路肩に設置し、現在、経過観察中。



<生分解性ネット>



<施工状況>

森林環境税を活用した製品等開発事例

格子型木製パネルを用いた格子捨て型枠工法

事業主体 : 里山会

開発内容 : ●地域材利用増大を目的とし、コンクリート型枠に工場で組み立てた格子型の枠を組み合わせ、パネル化することにより、軽量で低コスト、且つ施工性の高い工法を開発した。肝付町内で試験施工し、現在、経過観察中。



無機複合化木材を用いた木製流路工

事業主体 : 特定非営利活動法人パブリックマネジメント鹿児島

事業名 : 森林環境税公募事業（木のあふれる街づくり事業）

開発内容 : ●液体ガラスを使用し、改質した高耐久性木材とコンクリートを組み合わせた二次加工製品（擁壁）を開発し、河川等厳しい使用環境での木材の用途拡大を図った。
県単治山箇所にて試験施工し、現在、経過観察中。



マリンポート



待合所(全景)



待合所(室内)



天井(リュウキュウマツ)



壁(スギ)



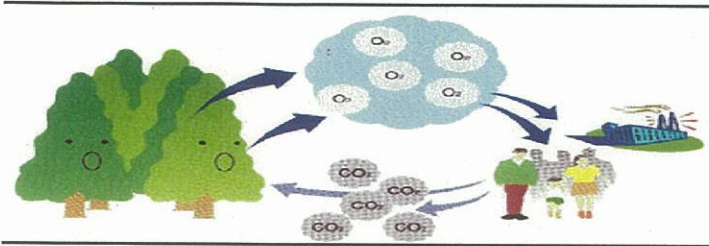
木製防風工



木製プランター

地球温暖化防止に貢献する木材利用

森林の二酸化炭素吸収のメカニズム



●森林は二酸化炭素を吸収(炭素を固定)し、成長します。

木材利用と炭素との関係

■一戸あたりの炭素貯蔵量と材料製造時の炭素放出量

	木造住宅	鉄骨プレハブ住宅	鉄筋コンクリート住宅
材料製造時の炭素放出量	5.1 t	14.7 t	21.8 t
炭素貯蔵量	6 t	1.5 t	1.6 t

(岡崎泰男, 大熊幹章, 「木材工業」vol53-4, 1998)

●木材は、鋼材などと比べて製造時のエネルギーが少なく、環境に優しい材料です。

木材は究極のリサイクル材料

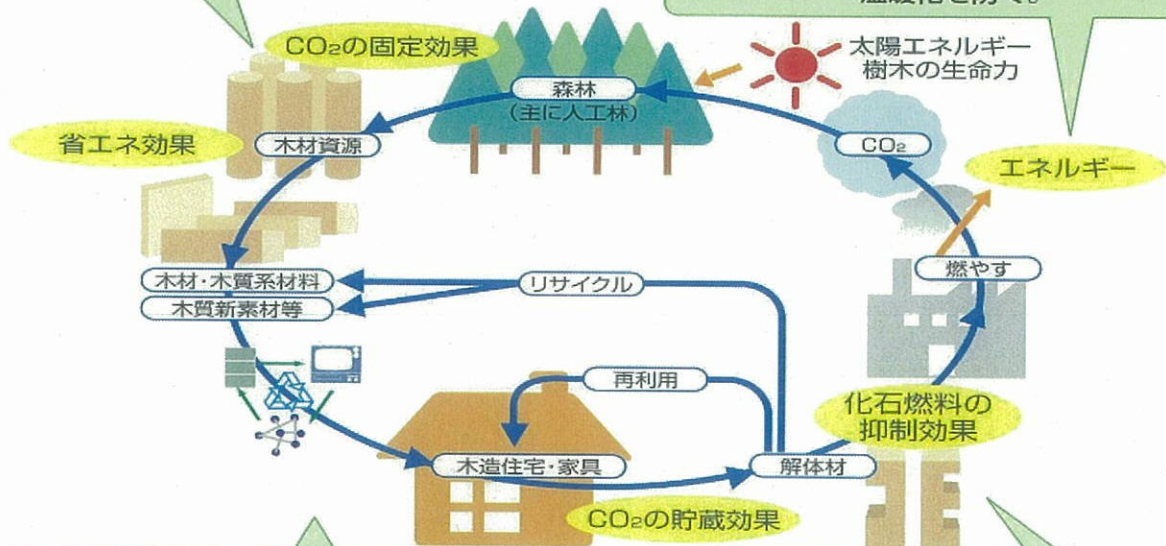
森林を活用した循環型社会システム

木は「再生産可能な資源」

木は、伐ってしまっても植えればまた再生産することができる。

木質バイオマスエネルギーの利用

石油や石炭などの化石燃料の代わりに木を使うことで、化石燃料の消費を抑え、温暖化を防ぐ。



木材は省エネ素材

木材は加工のための消費エネルギーが他の素材に比べて少ない。

木材はリサイクル可能

木材は、廃材を新たな製品につくり替えたり、再利用したりすることが可能。